

平成30年3月22日

羽生市議会議長 松本敏夫 様

羽生市議会 丑久保恒行 印

行政視察報告書

行政視察を下記のとおり実施したので報告いたします。

1. 視察項目
 - (1) 公共施設等総合管理計画について
 - (2) 防災 AR システムについて
伝統産業美濃和紙について

2. 視察日程
 - (1) 平成29年10月24日 ～ 平成29年10月26日
 - (2) 平成29年12月20日 ～ 平成29年12月21日

3. 視察概要
 - (1) 公共施設等総合管理計画について（富山県滑川市・射水市）
 - ・公共施設等総合管理計画の取り組みについて
 - (2) 防災 AR システムについて（岐阜県山県市）
 - ・システム導入の経緯及び背景について
 - ・システムの内容について
 - ・システム導入の成果、効果について
 - ・システムの課題、改善策について
 - (3) 伝統産業美濃和紙について（岐阜県美濃市）
 - ・人材の発掘
 - ・原材料の確保

拓政会・丑久保・阿部議員行政視察報告書

日 時 平成29年10月24日（火）～26日（木）

視察先 富山県滑川市・射水市

テーマ 公共施設等総合管理計画について

羽生市は昭和40年代から60年代の人口増加に伴う需要の増大に応じて、学校や市営住宅などの公共施設が、次々と整備されました。こうした経緯もあり、築後30年以上を経過した建物が多く、老朽化の進行や耐震性不足などにより、改修や更新、あるいは、廃止などの選択すべき時期を迎えています。

一方で、今後予測される急激な高齢化や人口減少などにより、税収の落ち込みは確実となり、厳しい財政運営を余儀なくされ、公共施設の利用の見直しが大きな課題の1つとなっている。

このような状況下から、2つの市は、積極的に「公共施設等の総合管理計画」を推進しており、当市に参考となる案件が多々あると考え、視察先として選定した次第である。

10月24日（火）午後1時30分より

滑川市担当 総務部財政課 奥村係長からの説明

まず、中島議長から歓迎のあいさつがあり、担当の奥村係長、そして、岡本議会事務局長も最後まで同席しておりました。

かつては「越中富山の薬売り」と称され、近年ではホタルイカの町・くすりの町、滑川市の市制施行は、昭和29年3月1日、市の面積は54,63平方キロメートルと、羽生市と市制施行年、市の面積は共に同じです。

滑川市の人口は33,400人弱、公共施設等総合管理の更新費用見通しは、羽生市約620億円に対し、滑川市は656億円余りと、こちらも同額の見通しを示している。

こうした状況を踏まえ、今回のテーマの担当者である奥村係長は、資料に沿って詳細に説明してくれ、また、我々の6つの質問項目に丁寧に答弁もしてくれました。

質問1の答弁

3つの大きな柱があり、資料の中にも説明されているが、数値目標を設定し、検討や複合・統合化の方向である。

質問2の答弁

平成32年度までに、個別計画策定を国が示す予定であり、建物は予防保全に努めるが、解体・大規模改修など、個別に市民や議会に説明している。

質問3の答弁

民意に謙虚に耳を傾け（反対意見など）歩み寄りもする。また、民意の意向を設計にも盛り込んでいる。

質問4の答弁

廃止をした場合、交通弱者に対し、コミュニティバスのルート変更をしたり、デマンドタクシーを運行の予定である。時には、設計・統合の変更もあり得る。

質問5の答弁

現状では無用の施設はない。建物建築が高いものは売却、老朽化した建物は解体とのスタンスである。

質問6の答弁

人口3万人では、新しく建物を作ることは難しく、また、人口減少社会に入っているのが厳しい。近隣市町村からの声掛けがあった場合、「一緒にやりましょう！」と前向きな検討を考えている。

その後、他の質問も行い、スムーズに進行、一方で、有意義な視察内容であった。

10月25日(水) 午後1時30分より

射水市担当 森田 人事課長補佐兼行革推進係長からの説明

まず、竹内議長から快い歓迎のあいさつ狩り、滑川市と違い、今回のテーマについては、森田行革推進係長が資料に沿って説明をしてくれる。

人口93,717人の射水市は、平成の大合併の年である、平成17年11月に1市3町1村で合併した。すでに事前質問を用意しておいた案件には、文書で答弁が記載されており、1人1人に資料とともに、コピーが渡されていた。

森田係長の説明によると、大合併1年後には、行政改革大綱を策定、平成23年度からは市議会や市民へ課題点を提供していた。

平成27年度からは、取り組みの現状と課題をシリーズで掲載、この年の11月には公共施設に関する市民アンケート実施、平成28年2月には結果の公表を実施している。

平成28年度6月議会には公共施設白書を公表。例えば、10年ごとに更新・改定を行い、本部長を副市長とした組織体制を作り上げている。また、更新・改定の素案ができると、市長決裁の後、議会報告もし、公表している。


特に着目した点は、市長の年齢が若いせいもあって、将来の課題に向けて、次世代に過度の負担を強いることのないように、情報の収集に専念し、総合戦略によるまちづくりを展開。

そして、市長のビジョンとして、これからの取り組みに対しては、富山圏をプラットフォームと考え、市民や議会等と十分なコミュニケーションをとる。

また、「管理計画」については、平成32年度末までに、統合・廃止などのマネジメントに取り掛かる予定である。

総合管理計画の概要はカラー印刷され、必要に応じてうまく活用されており、市のトップの意気込みが織り込まれていた。

平成29年11月15日

田久保 恒行 

薫風会・丑久保との行政視察

報告書

実施日 平成29年12月20日(水)

午後2時30分から

場 所 山県市役所 全員協議会室

防災ARシステムについて

総務部浅野主幹より説明

羽生市側・薫風会より、事前に、**4点の質問を提出**。まず、その回答

1. システム導入の経緯及び背景について

49ヶ所避難所を指定・・・ホームページや広報紙で情報を提供
これまで、観光などで山県市へ来た場合、情報提供手段ない。そこで、協会
を知り、締結する。

2. システムの内容について

山県市内の避難所のみならず、全国の避難所もOK。観光情報も、情報をゲ
ットできる。また、ポイントを貯めることができるので、防災グッズもゲッ
トできる。GPS機能あり。

3. システム導入の成果、効果について

情報収集のツールが増えた。このシステムは無料で導入できる。山形市民
全員に導入が可能。

若年層に対しての防災意識の向上につながる。

4. システムの課題、改善策について

ダウンロードの周知が課題である。

質疑・応答

1. 全国防災共助協会とは？
詳しい協会の内容はわからない。山泉市の担当者が替わったので。
2. 導入から1年、普及の度合いは？
まだ、PRが足りない。
3. 大雨で移動してくださいとの説明はしたことがあるか？
避難している。
4. このアプリでの訓練は、ナシだが、実際に避難しているのか？
台風のため、避難準備予報を市がだしたことがある。
5. 外国語での情報提供は？
近年外国人は増加傾向だが、確認していない。
英語・中国語は可能である。
今後、7ヶ国語を開発中である。
6. 地震・土砂・津波災害等の情報提供は？
地域防災計画を基にして実施
7. ARの普及活動について
今後考えてゆく方向である。
8. 平成15年合併後の防災訓練は？
2町1村、持ち回りで実施。たとえば、土砂災害を想定し、徒歩で避難訓練を実施。500人参加。ドローンで写す。自治会単位で自主防災会で訓練。啓発活動を行う。しかし、意識の向上を展開しているが、苦労している。

結 果

ARシステムの導入は羽生市でも検討の余地ある。
避難場所・避難経路について、確認し、検討の余地あり。

薫風会・丑久保との行政視察

報告書

実施日 平成29年12月21日(木)

午前9時30分から

場所 美濃和紙の里 会議室

伝統産業美濃和紙について

美濃和紙推進課渡辺氏より説明

千年プロジェクトについて、プロジェクターを使用し説明

1. 人材の発掘

- ・ 158人参加・・・5日間と1ヶ月間の2つのコースに
- ・ 16人 実践研修を受け、継承(職人の育成)
- ・ 2人の研修生が、3年間の研修を受講

2. 原材料の確保

- ・ 大子那須楮の安定確保の難しさあり
- ・ 国内外から輸入
- ・ 質・量の安定確保
- ・ ねべし(とろろあおい)
生産拡大・保存に難しさあり
- ・ 用具職人の育成
技術の保存・継承

質疑・応答

1. 年間の生産額は?

- ・ 4,000万円 ~ 5,000万円が岐阜県内だが、美濃分については不明
- ・ 小学4年生から、紙すき和紙の体験

2. 継承について？

伝統工芸について、人材の育成。発掘、また、原料の安定供給は不可欠

3. 無形文化遺産化し、補助金の額は？

地方創生推進補助金及び県単補助金は、少し、アップ

4. 材料の確保に苦慮

この先も、大きな問題である。

説明会終了後、紙すきの体験を実施

結 果

1. 美濃和紙、埼玉県小川町・東秩父村では細川紙、島根県浜田市では石州半紙の3ヶ所がユネスコ文化遺産となるも、後継者の問題、材料の安定確保などいくつかの課題がある。
2. 日本の文化伝統が、この先も継承されてゆくところへ持ってゆくことが必要である。
3. 手すき用具などの職人の育成も大切